

災害からの復興は、どうしたら可能になるのでしょうか。私たちは、"祭り"を切り口にして、復興について考えてみることにしました。歴史をふりかえれば、京都では、疫病や戦乱といった災害からの復興に、祇園祭が大きな役割をはたしてきました。また、神戸では、阪神・淡路大震災からの復興のなかで、ルミナリエや芸術祭ビエンナーレが開催されてきました。祭りは、人と人とのつながりを築き、地域に活力をもたらします。社会を再生し復興を可能にする力が秘められています。私たちは、京都と神戸の経験から、復興を可能にする祭りの力に迫ります。

祭りと復興

—京都・神戸からの発信—

聴講無料
(定員200名)

事前申込み
不要

京都産業大学 法学部 法政策学科
開設記念シンポジウム・パートV

第1部 基調講演

「祇園祭山鉾行事と京都市民」

深見 茂

氏 (財)祇園祭山鉾連合会前理事長



プロフィール

大阪市立大学教授、滋賀県立大学教授を経て、各名誉教授。専門はドイツ文学。1996年から2010年まで祇園祭山鉾連合会理事長を務め、祇園祭の継承と発展に尽力。2009年には、祇園祭の山鉾行事がユネスコ無形文化遺産に登録された。主な著書は、「ドイツ近代短篇小説の研究—その歴史と本質」(東洋出版)など。

「阪神・淡路大震災から生まれた 神戸の協働と参画」

桜井 誠一

氏 神戸市代表監査委員



プロフィール

1995年の阪神・淡路大震災時、神戸市広報課長、生活重建本部長、2009年国内初!新型インフルエンザ神戸騒動時、神戸市保健福祉局長を経て現在、神戸市代表監査委員。主な著書は、「防災都市神戸の情報網整備—神戸市広報課の苦悩と決断—」(編著、ぎょうせい)・「新型インフルエンザ国内初!神戸市担当局長の体験的危機管理」(時事通信社)など。

第2部 パネルディスカッション

<パネリスト>

深見 茂 氏

桜井 誠一 氏

木村 周平 氏 (富士常葉大学社会環境学部・大学院環境防災研究科准教授)

植村 和秀 (京都産業大学法学部教授。専門は政治学)

<コーディネーター>

久保 秀雄

(京都産業大学法学部助教。専門は法社会学)

お問合せ先

〒603-8555 京都市北区上賀茂本山
京都産業大学 法学部事務室
TEL: 075-705-1458
E-mail: hougaku-jim@star.kyoto-su.ac.jp



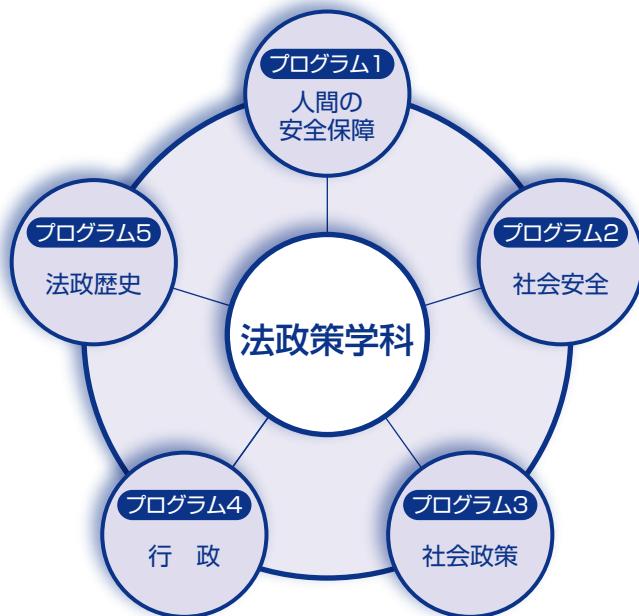
POWER UNIV.
京都産業大学

NEW

法学部 法政策学科

2009年4月開設

2009年4月に誕生した法政策学科は、法律学と政治学の「知」を問題解決に活かす「政策実践力」の養成を目指しています。カリキュラムの特色は、法学の領域を中心としつつも、政策学などの幅広い領域に踏み込んで学べる非常に柔軟なスタイルです。さらに問題解決の実践にチャレンジする機会を豊富に設け、特に現場で学ぶ「フィールド・リサーチ」を重視します。専門分野を系統的に学ぶため、下記の5つのプログラムを設けました。



プログラム1

人間の安全保障プログラム

人間一人ひとりの安全を守るために、日本の行動指針を政策論の視点で考える。

- ・世界を見据えた日本の外交政策を考察
- ・国際政治と国際法を中心に視野を広げる

プログラム2

社会安全プログラム

安全な地域社会の実現をめざして、諸科学の英知を結集し、政策提言する。

- ・社会の構成員の連携による犯罪予防策を考察
- ・社会学や心理学などの諸科学も学習

プログラム3

社会政策プログラム

新しい時代における「公共性」を考え、社会制度として実現する政策を立案する。

- ・社会政策について幅広い側面から学ぶ
- ・求められる社会制度のあり方を多角的に考察

プログラム4

行政プログラム

国・地方自治体のさらなる発展に貢献できる高度な問題解決能力を備えた人材を育成。

- ・公務員として活躍をめざす人が対象
- ・公務員試験を見据えた教育を展開

プログラム5

法政歴史プログラム

現代社会が成立した過程を歴史的に学習。新しい時代の社会のあり方を考察する。

- ・社会のあり方や公共性のあり方を考える
- ・歴史に関する諸問題を幅広く学習する



POWER UNIV.
京都産業大学